

## 第5回 新宮市文化複合施設管理運営検討委員会 会議概要

日時：平成28年7月5日（木） 午後1時30分～午後4時00分

場所：新宮市人権教育センター

【出席委員】		堀内委員長、 川口委員、船上委員、高委員、 榎本委員、雑賀委員、竹中委員、 城庵委員、那須委員
【欠席委員】		勢古副委員長、関副委員長、山本委員
【退会委員】		丹羽委員（6月1日付で退会）
【事務局】	文化振興課	片山教育部長、畑尻課長、須崎課長補佐、前地係長、古川主事、小林主事、篠原主事
	図書館	道前係長
	シアターワークショップ (TWS)	伊東氏、川本氏

### 〈開会-委員長あいさつ〉

委員長	事務局から地方新聞の切り抜きとなども送っていただいて、行政におかれては文化財の発掘調査の関係の問題、特別委員会の設置、いろいろ議論されているようだが、本委員会は管理運営の委員会なので、文化複合施設ができたときにどういう管理運営の形態が必要なのか、学習も兼ねて、定義をしていくための委員会を進めていきたい。しかし、断片的にこの間の文化財の調査の問題をめぐって、管理運営に影響することもあるので、現在までの文化複合施設の進捗状況・現状について、議題ではないが、皆さんの情報共有ということで教育委員会からの報告を求めたい。
-----	--

### 〈報告-1 施設建設予定地の発掘調査についての報告〉

部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回4月15日に開催された管理運営検討委員会以降の文化複合施設の経過と現状をお話させていただく。新聞報道などで承知のとおり、文化複合施設整備予定地の旧丹鶴小学校跡地で発掘調査を行ったところ、さまざまな遺構が発見されている。これらが重要遺構であるという認識から、県教育委員会からは記録保存ではない、現状保存も検討するように指導を受けている。設計による配慮でうまく保存できないかなど検討しているが、限られた敷地の中で技術的にも費用的にも難しい宿題を与えられている状況である。発掘調査は全体の5分の1程度を発掘したところで、江戸時代初期の石垣や、鎌倉時代から室町時代と思われる地下式の石組倉庫や竪穴式倉庫、出土品も多数発見さ</li> </ul>
----	---

	<p>れている。縄文時代の遺構の存在も確認され、調査量も増加している。当初は記録保存を目的とした発掘調査としていたが、歴史上、学術上価値が高い遺構と認識し、地盤改良工法や施設の形状や配置の変更など設計の検討により破壊を回避できないかを検討中である。極力、現地・現状保存をしていかなければならないと考えている。建設上、やむを得ず保存できない箇所については移築保存なども検討し、通常の記録保存にとどまらない対応を考えている。市長からは、発掘調査の状況や保存方法の検討などからスケジュール的には平成 31 年 3 月末の完成予定は厳しいという認識から、財源確保の点で国の交付金の期限延長を申し入れたいとの発言があった。6 月議会では、新たに文化複合施設にかかる遺構発掘調査および都市再構築戦略事業調査特別委員会が設置された。今後様々な角度から議論されることとなる。現在の設計の進捗状況だが、遺構に配慮した設計の検討を行ってもらっており、また今後も遺構が発見されれば 2 棟案の基本設計の変更も検討しなければならない可能性も高いため、市長からこの 2 棟案を一旦中断するよう指示を受けている。今後、庁内建設検討委員会で保存の方針や整理方法、国の交付金との関係性を考えながらスケジュールを検討し整理を進めていきたいと考えているのでご理解のほどよろしくお願いたします。</p>
<p>【文化財保存方法、展示の仕方についての質疑】</p>	
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存方法について、一般的に埋め戻して土を積み上げてというのは認識しているが、建物を回避するというのは展示保存をされるという考え方なのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺構の保存方法、現地・現状保存、その他に記録保存といったものがある。当初は記録保存で発掘調査を行ったが、遺構が重要であるという認識から、県からはできるだけ現状保存を行うよう指導があり、協議をしているところである。保存方法については今後のことになる。なかなかすぐに協議がまとまるといった状況ではない。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連してだが、記録保存というのは調べて埋めてしまって記録だけ残すというもの、それが価値のあるものが出てきたので、現地保存と現状保存と移設保存があるという状況。県との協議を進めているということだが、今の段階で分かっていることで結構なので委員の共有のために教えていただきたい、記録保存ではなく、現地保存・現状保存・移設保存のどれを採択してやるか、あるいはそのことによって調査期間についてどのような変化が生まれるか、分かっている範囲で教えてほしい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状保存・現地保存、通常は埋蔵文化財包蔵地に建設するというところで、調査した上でそこを破壊してしまっ埋めたてようというところで記録保存という方法を考えていた。ところが、発見されたものが江戸初期の石垣、あるいは室町時代の倉庫、その年代の地下式倉庫が出てきているので、それを保存も含めてどのようにしていくかを現状は考えている。それを見せるかどうかということについては、その次の段階、そこを現地で残しておく、埋め戻しておくということも後世に伝えるという意味では重要な方法である。今調査している範囲というのが全体の5分の1程度なので、そこで出てきたものについてはそういったものが出てくるというのが分かっているが、まだまだ2次調査が約5,500㎡残っているので、そこを発掘してみるとどういう代物が出てくるかわからない。2棟案を進めていってもどういう風に建てられるか少し不透明である。というところで、2棟案の設計については止めているというところである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今少し市民の間で争論になっているのは、保存をしたら展示して皆が見られて観光客も来て良いという話になっているが、私の認識では、風化・劣化をさせないというのが現状の保存だと思う。展示をすることになったら何らかの手を加えないといけない、これは現状保存ではない。どのように考えているのか、現状の保存というが、保存したら見せられるという風に市民は勘違いをしている方が多い。そのところのはっきりした考え方をおっしゃってほしい。</li> <li>・ 見せるのは何らかの手を加えたり、風化・劣化を抑えないといけないから大事なものになればなるほど見せられなくて、見せるとしたらレプリカを見せるか手を加えてもかまわないものを見せるという認識がある。本当に大事なものは実は展示できないのではないと。という風に思うがそこはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見せられるところは、施設の配置によって、例えば図書館のホワイエや、市民ホールのホワイエなどでうまくそこが合致すれば見せることはできると思う。見せられない所であってもそのまま埋め戻して、保存できる場所は保存しておこうというところなので、場所によって違う、出てくるものの価値づけによってどういったことが必要なのかということ、今度、県と保存協議という形で行う。</li> <li>・ 技術的なことになるが、例えばうまく場所が合えばガラス張りにして見せるということ是可以する。手を加えなくとも現状のままで見せられるという方法もある。施設の倉庫など、見せられないような場所については見せる方法がなかなか取れないので、なるべく壊さないで現地</li> </ul>

	<p>で保存しようというところ。現地ですべて保存できない場合には、そういったプロセスを踏まないといけませんが、基本は現状で保存していこうという考え方の中で、石垣なら積み直し・積み替えできる、別のところに移せる場合もあるので、それが移築保存という方法。柱穴の遺構については、剥ぎ取りという方法もある。薬剤で固めた上でそれを剥ぎ取っておいておく。展示できるものは展示するというもの。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会としての確認と要望をお願いしたいが、県が許認可のように、市の保存判断を県が了解しないと前へ進めないということはないか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存協議という整え方をするので、市がどのような保存方針を持って県と話し合いさせていただくかの協議になると思っている。最終的な判断というのは市がどう判断するかということになるろうかと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それは県の合意がいるのではないか？県と市の意見が違っても、市の保存方法で押し切るということも可能なのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的にはそういったことも可能だが、現実的には保存協議が整った上で十分遺構に配慮して、破壊行為を行ってしまうということにもなりかねないので、そういったことが無いような形をとりたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>概念の整理だが、現地保存と現状保存は同義語か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地保存・現状保存、同義語と考えていただいて結構かと思う。言葉の区分として、遺構が見えたままが現状というイメージになっていると思うが、それも現地のままでそのまま置いておくことだから、現地保存の一つだと思っている。</li> <li>現状保存というのは、発掘したものをそのまま地上に出して保存する、保存していくには何か手を加えて保存、整理なり修理なり必要かと思う。現地保存というのは、埋め戻して土の中で保存していくこと。あとは移設保存とか移築保存とか別のところに持っていくこと、これははっきり言って破壊と一緒にすること。あとは記録保存。記録保存も破壊である。発掘調査の記録しか残らないということ。（学芸員より）</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長から2棟案をやめろということか。1棟になるかもしれないということがあるのか。</li> <li>設計作業を停止するというだけであって、あの場所には図書館と文化ホールは絶対に作るという前提のもとで会議を進めようという</li> </ul>

	<p>ことか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のまま進めていっても、配置などが変わってしまうと設計案が使えなくなるので、一旦、遺構に配慮した建て方を検討しているという段階で、1棟案にしようかどうかという話ではない。図書館とホールということで、2棟案で進めていくということだが、配置も変えて保存に配慮しなければならないということが出てくるかもしれないので、設計は一旦停止しましょうという状態である。基本設計の見直しを停止している。遺構の確認や、いろいろな作業によってまたそれを進めるということで停止している。</li> <li>現在、旧丹鶴小学校跡地に建てないという選択はしていない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計検討委員会で1棟3機能でもいいのではないかという意見もあったにも関わらず、ランニングコストなど配慮して止めさせ、3棟案を追認する形の提案をしたが、保存形態が確定しないと、基本設計が固まらないという理解でいいのか。我々としては、3棟が2棟になって2棟が1棟になって1棟が0棟になるようでは話にならない。本委員会は文化複合施設を作るという基本方針の下にやっているので、2棟の原案通りの管理運営の検討を進めていくとして、県との協議でどういう保存方法にするかが決定し、基本設計が固まる時にはきちんと本委員会にもご連絡ご報告をいただきたいということに今日はしておきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>我々は何回も裏切られてきた。市民の為にと思ってここに座っている。もしかしたら縮小するかもしれない、席数が変わるかもしれない、そうしたらまた大きく変わってしまう。市長がはっきり1年間延長するという見込みで検討に入ったのであれば、もう少し方向性がはっきりするまでこの委員会も延期されるべきではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館と文化ホールを建設するという前提で管理運営委員会を継続していかないと時間が間に合わないのではないかと。市からの報告や状況を見て、間隔については考えていくということで、今、管理運営検討委員会を開く意味は無いという意見は猶予してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この委員会の答申はいつ出すのか？</li> <li>3棟案が2棟案になった原因に費用の面がある。以前の本体工事のところに発掘調査の費用も入っていたかと思うが、今回新たなものが出てきたことによって大幅に費用が増えるかと思う。その費用はこの建設計画には影響するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>答申は11月である。施設の形態が決まらなないと考えられない部分で</li> </ul>

	<p>会議しているわけではなくて、どのような形であれ、基本的な管理運営の方針を今議論していただいて、この秋にはその方針をまずまとめたい。それから事業運営なり、計画を進めていこうというスタイルにしている。次の段階のところで形が決まっていなくて事業運営なり、さまざまな方法ができないかも知れない。細かい部分になればそういった段階も考えられるかも知れないが、今の状況はそのように理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体の財政の中では発掘調査の部分は当然増えることにはなるが、この文化複合施設建設にあたっての埋蔵文化財調査分というのは別枠と、もともと考えていた。去年の12月には5千万余、今回補正予算で1億2千万余、合計2億2千万余を補正させていただいている。熊野学棟をやめた時に、55億としていたのが59億8千万になったという状況で、市長の判断でやめたわけだが、その中にも文化財の調査分については除いていた。今回も除いて考えている。どうしてもこの調査については、埋蔵文化財包蔵地に建設するという場合は必ず行わなければならない。その中でさまざまな重要な遺構が発見されたということで、他の費用もかかってくるが、それは文化複合施設建設の分には影響しないという風に考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財とか国の補助金のことを考えて新聞記事を見ると、31年3月から1年ぐらい遅れてでも作る方向で考えるということだが、文化財の判断もあるのでその都度、県との協議なり議会報告のあとでも結構だが、本委員会にも進捗状況を適切に報告いただきたい。その段階でどんな間隔でどんな内容でやるかということはこの委員会で議論していきたいと思う。今のところ建設が1年遅れるかどうかは最終的に行政判断になると思うが、2棟3機能という基本的な方向性を堅持しながら、管理運営の検討を進めていくことにしたい。</li> <li>県との協議、保存方法、国の補助金との工期の関係、経費の関係で、大幅な変更を必要とするときは市長が説明に来るよう要望しておく。</li> </ul>
<b>&lt;全体の流れを復習・説明&gt;</b>	
TWS	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の流れの復習、説明を行った。</li> </ul>
<b>&lt;議事-事業方針について&gt;</b>	
TWS	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業方針、WSのまとめについて説明を行った。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>副委員長も含めて正副委員長会議を行った。台風12号の大水害が無ければもっと早く本事業は展開されていたと思うが、そういう経験も踏まえて熊野の中心都市である新宮の文化施設について、水害の前から関わってきた。上位計画と事業活動計画はWSの意見をうまく組み込んでい</li> </ul>

	<p>ただいて、本検討委員会として継承・発展の上に自主事業方針の5つの柱というものを提案している。今から委員の皆さんにひとことずついただきたい。本検討委員会が市に提案するときの自主事業方針として、今までの流れが生きているか、あるいは上位方針と食い違ってないか、この2点についてみなさんの意見をお伺いしたい。</p>
委員	<p><b>【自主事業方針、WSで出た内容についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業方針案、今の段階ではOKだと思う。</li> <li>・ それぞれの柱が上富田で実施している事業にも関係しているが、網羅しているという印象。</li> <li>・ WSを元にどれだけ取り入れられるかなというところだが、WSを元にもう少し幅を広げて取り入れてほしい。WSで意見を出さないともうこれは反映されないと言われたが、これは危ないと感じる。WSで出た言葉を拡大解釈してほしい。</li> <li>・ 新宮市は65歳以上が3分の1になるので、今の案だと65歳以上を対象としたものが見えにくい。現実的な高齢者向けのものが必要。</li> <li>・ 新宮市の文化資源ということで、お祭りと神事を並べてしまうと気になる方もいるので変更したほうがいい。</li> </ul>
TWS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今だけしか意見を聞かないということではなくて、常に意見を聞いていくが、物事を決めるときに市民の声を聞いて決めていくということ、いつでもご意見を言っていただいて、それが合意を得た上で実施をしていくということ。誤解があったら申し訳ない。</li> <li>・ お祭り・神事の判断も意識なく並べているので、もしそういうご意見があればそれに合わせて書き換えたい。</li> </ul>
委員	<p><b>【自主事業方針、WSで出た内容についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民目線の意見でまとまっている。もう少し新宮市だけではない熊野圏域で見たところの大きな文化の広がりや、まちなか観光の面を求めている方もいるので、街なかの活性化という1つのキーワードのところの観光というところもある。</li> <li>・ 基本的な考え方に”圏域住民”という言葉があって、新宮市の施設だから新宮市が中心拠点だが、新宮を1つのコアとして周辺にも発信できるという思いを入れてほしいということ。</li> <li>・ 市民会館を利用していた団体は多い。踊りも、歌謡団体、合唱団体も10以上ある、それ以外に舞台と関係ないものも含めて50近くの団体が登録している。それ以外にピアノの発表会等先生方がやっておられるところで数限りなくある。そう意味では自主事業については心配なくていい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰がコンダクターになっていくのか。県教委がするのか市教委がするのか、それとも市がするのか、そういう団体を作るのか、その点だけが問題。</li> <li>・ 新宮市は新しいもの好きなので、最初の2年間はどのようにでもなる。活性感あふれると言うとかっこいいけど、飽きやすい市民感情。これを誰がまとめるか、そこのところをもう少し詰めてもらえれば。</li> <li>・ WS 参加させていただいて、前回若い人が参加してくれてものすごく楽しかった。若い人たちが意見を出してくれたが、大人しいとも思った。もっととんでもないものが1つ2つあっても良かった。すごくまじめに取り組んでいたという印象。</li> <li>・ みなさんの「地域愛」、そこから枝分かれして5つの柱ができていと思う。すごくきれいにまとめていただいたので何も言うことはない。</li> <li>・ WS の中で学校を中心としたということは多かったと思うが、今この新宮市の中で若者を中心何かしようとすると、学校を中心として何かを起こすということが必要になってくる。“学校を巻き込んで”という文言が欲しいと感じる。</li> <li>・ 新宮市は新しい店が出来ても数年たつとつぶれてしまうというところがあるので、新しい施設はそういうことがあってはならないと感じている。そのためにも、従来あったものを大きく概念を変えて、若い子供たちにいかに継続的に何かをしてもらえるかということを中心に考えていかなければいけないと考えている。そういうことを上手にまとめられていると思う。</li> <li>・ 祭りや神事が併記されているところに違和感がある。</li> </ul>
TWS 伊東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これはたたき台なので、みなさんのご意見をここに加えて、よりよいものになるための元になるものである。</li> <li>・ 高齢者というお話。どうしてもこういったコンセプトを立てると次世代とか若者に特化してしまう傾向がある。「次世代」という風にうたっているが、その1つ前は「幅広い世代の市民」という言い方をしている。若者だけではないというところを強調したい。</li> <li>・ 世の中的には少子高齢化であるから「高齢者」と「若者」なのだが、本当はこの街を今担っている人たち、20代～40代が抜けてしまう。実際文化団体の活動されている方々は高齢の方が多い。毎年平均年齢が1歳ずつ上がっていくということで、その中に若い人が入っていないという状況がある。事業を考えていくときには子供の部分、高齢者の部分と年齢・ターゲットを絞っていく事業は重要だが、今この街を担っている人たちが、積極的に参加できるような仕組み作りが必要。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回、運営の話になっていくが、先ほど誰が担うのかというお話があったが、まずはこの街を背負って立っている若者たちが運営に参加して行けるような仕組みを作っていく、彼らが中心になっていくような運営の仕組み作り、彼らが一番興味を持っているところの事業をやっていく。そういった仕組みというのも実は他のホールではあまりできていない。重要だと思っているので、「幅広い世代」というところにこだわっている。</li> <li>・ エリアの問題、どうしても行政範囲になるので市民という言葉になってしまうが、やはり広域という意識がある。「幅広い市民が交流し」というところで市民のことしか言っていないように見えてしまうのが問題点なので、この辺りの言葉遣いを変えながら、より広域的な仕組みであるというところを入れていきたい。</li> <li>・ 祭りのところはもう少し配慮したい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今議論していただいているのは過去の基本計画の提言、事業活動の意見と、2回に渡ってWSで議論してもらったものを融合して、我々が市に提言する自主事業の方針を定めたということで提案をいただいた。基本的にミッションというかコンセプト、どんな事業方針を目指すのか、どんな内容でやるのか（コンテンツ）、どんな方法でやるのか（ノウハウ）がある。その基本的なコンセプトの部分の基本方針として概ね了解いただきたい。今日出た意見については、この文言で最終確認ではなく、委員から問題提起をされて TWS から上げられたものについては文言を一部訂正して次回の委員会で最終確定ということにしたい。問題はさっき言われたようにどんな組織か、どんな管理運営をするかということでこの事業が実現するかどうかに関わってくる。そこには当然コスト問題も入ってくる。WS であんなことこんなことをやりたいと夢や希望を出しているが、誰が企画するのか、優先順位、落としどころを決めてやっていくというのがあとの組織計画や施設管理運営計画である。多分白熱した議論になると思う。今日のところは基本的に自主事業方針を了承したということで、一部修正が出たところについては次回に変えてもらって、概ねこの方向で自主事業を進める。</li> </ul>
<p>&lt;議事-イベントについて&gt;</p>	
TWS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント、開館記念事業の方向性について説明</li> <li>・ （きな～れを回覧）</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主事業方針のように、項目を精査してまとめるにあたって WS で出たものを紹介したらこうなったが、ここから集約していくのに欠けている</li> </ul>

	<p>キーワードとか問題点がないか、追加したほうがいい、あるいは削除まではしないがトーンを落としたほうがいいなど、意見があれば出してほしい。</p>
委員	<p><b>【プレイベント、開館記念事業の方向性についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開館事業と、建設前から実際に通年につながっていく取り組みについて述べているのが印象に残っている。さっきのグループの発表の中でもあったように、やっぱり学生が多かったということもあるが、学校や子供たちと連携するということが強調されていた印象。</li> <li>・ 上手にまとまっている。建物を建てたり壊したりする時から巻き込んでいくというのが、新宮市民の飽きっぽいところをなくすためにもたくさんイベントをやっていくというのが大切だと思う。本当に学生が積極的に参加しようとしてくれているので、皆本当に力を入れていて、就職する子もたくさんいるので、今からやっていけることもあると思う。</li> <li>・ 今公民館の館長をしているが、公の席でもお酒が飲めるようにしてほしいという要望がある。酒を飲むのが目的では困るけれども、例えばホールで盛大な結婚式などがあっていいのではないかなと思う。</li> <li>・ 高校生はものすごくいい事を言う、だけど自分からはなかなかやらない。そういう時間も場所もない。話してくれた高校生をその場で組織すれば動きだすだろうが、その後だと誰かがやってほしいとなる。今の受験戦争の中では大変。やってくれたら私参加しますという風ではなかなか若者が育たない。</li> <li>・ 誰がどこできっかけをつかんで動き出すのか、この指とまれと言うのを誰がするのか、言って終わりにならないか、組織の部分が心配。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案するのは彼らが行動につなげる第一歩だから、新宮を離れて帰ってくるときに、自分たちが高校生のときに関わって出来たホールだと思ったり、自分たちが子育てしたり年をとったりしたときに愛着を持ってもらうためにも、若者が参加するのは良いことである。やらせないとだめだということ。</li> <li>・ 教育の面でも家庭と学校の連携があるが、文化の面でも家庭と学校の連携が必要。連携していく1つの拠点になったらいい。</li> </ul>
委員	<p><b>【プレイベント、開館記念事業の方向性についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもや学生が舞台に立つ機会を提供する」その通りだが、子どもや学生だけでなく、壮年も老年も舞台に立ちたい人はいっぱいいるし、あまりに若者限定ではないようなものの方がよろしいかなと思う。そして舞台に立つだけでなく、運営に関わる人間、参加したい、やりたい人間</li> </ul>

	<p>をもっとプレイベントの時から継続して育てる。裏方や、関わる人をもっと育てることをクローズアップしておかないと、言った方がいいがやる人が全然いないという状況になってはいけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこでもお酒が飲めるという案は大賛成。新宮市には日本酒で乾杯する条例がある。話はそれだが、提案した事業を誰がやるのか。ものすごくプレッシャーを感じてしまう。もう少し周りの人にやってよと渡せるような文言があれば違う。</li> <li>・ 網羅しており、プレイベントの方向性は広い印象を受けた。ここから絞り込んでいくだろうが。市民を巻き込む仕組みが大事になってくる。</li> <li>・ 建設段階の写真とかを展示していくのが大切。これから育ってくる子どもたちの印象に残る。年月を経て出来た施設だということを知ってもらうためにも必要。</li> <li>・ 市民を巻き込んだイベント、市民ミュージカル、新宮市民会館で3月に2日間、バンド演奏と演舞などをやったが、そういうイベントを数日にわたってやるのは大賛成。ボランティアでスタッフをやる子もいる。表に出る子も声をかければいっぱいいる。新宮出身のアーティストもいるのでお願いして出てもらうようにすれば、プレイベントは盛り上がっていくのでは。もちろん新宮市だけではなく、尾鷲～串本、本宮などからも市民会館がなくなったらどこへ行くのか、という話は良く聞く。そのあたりまでを考えた上でのプレイベントにしていけばいいのではないか。</li> <li>・ WSに参加した子ども達数人から話を聞いた。印象に残った言葉が、自分たちが挙げた途方もない提案でも、ちゃんと大人は取り上げてくれるということをすごく感心していた。参加した甲斐があったと。だから自分をもっと参加しなければいけないということ saying していた子どもがいて、子どもたちの意見も取り上げていくことが大切だと感じた。1つ1つの積み重ねが大切で、誰が中心になっていくのかというところで、そういった子どもを育てたほうが良いと強く感じた。</li> </ul>
TWS 伊東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだこれは生煮えの状態でお見せしているが、次回キーワードでまとめて来る。</li> <li>・ 最終的には組織作りの問題、どのようにまとめていって、誰が担っていくのかという所だが、それが次の大事なテーマで、事業の次は組織。</li> <li>・ 組織という意味はいわゆる運営主体がどこかということではなくて、市民がどのように運営組織と絡んで一緒に力を合わせて行けるかというところなので、そこに繋がるご意見をたくさんいただけたのはありがたかった。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主事業の基本的なコンセプトを共有して、段々問題が深く、意見の相違も明確になってくる。</li> <li>・ 次は組織計画である。施設管理計画が一番大変である。ランニングコストをいくら以下に抑えるというのも財政的には一つの考え方だが、どんな施設に作りあげるのか、どうやって経費を抑えながらいいものを作るかというのは、コンセプトから順番にやっていかないと、ランニングコストの価値は出ない。</li> <li>・ だんだんこの委員の中でも直営がいいとか指定管理がいいとか財団法人がいいとかの意見が、施設管理のところに出てくるだろうが、それまでに自主事業の方針や組織の計画などを踏まえた上で、それを実現するための管理運営計画はどうあるべきか TWS に説明いただくことになる。</li> <li>・ 私は街づくりに関わってきたが、地域づくり全般を考えていくときに、地域づくり論・都市計画論の基本は3つある。1つは情報共有、情報公開、みんなが知らなければ意見を言えない。2つ目は共同参画、プロセスに参画していくことが次の担い手を養うことに繋がる。3つ目が、協働実践、コラボレーションとかパートナーシップ、協力して働く、一緒に作っていくことができるか。市民と行政とか世代を超えて、良くする為に協働して、手を携えて行う、その水準が文化の街づくりの基本である。それをどうするかについて、組織計画、施設管理計画、この自主事業の基本方針や、イベント等、広報活動をふまえた上で次回にまた整理したうえで提示していただく。</li> </ul>
<b>&lt;議事-市民参加について&gt;</b>	
TWS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民参加についての WS の説明。事例の説明など</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民参加についてということで、もっとこういう視点を入れたほうがいいなどご意見をいただきたい。次回の WS は 7 月 17 日（日）に実施する。</li> </ul>
委員	<p><b>【市民参加についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上富田は市民参加型で今やっているのは芝居、町民創作劇。古い劇団も関わってくれている。市民参加は演劇中心。その芝居のコミュニティからまた波及すると良い。制作・裏方、技術は分けても良いのではないかな。</li> <li>・ たとえば WS には高校生など、若い人が来ていたと思うが、これまで一生懸命文化的なことをやってこられた先輩方に遠慮してしまうという部分が多々あったが、WS を通じて若い人たちの言葉も取り上げてくれるという形ができあがってきている。市民参加とは、いろんな方に参加</li> </ul>

	<p>してほしいという部分を強制力が感じられないような伝え方をして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WS となると色々な幅広い年代の人が来る。資料をずっと読んできた人もいればまったくフラットで来る人もいる。サポートスタッフ、裏方と演者がいるのがリアルで、チーム分けして意見ではなくて実際にやってみたらどうだろうか。企画推進するとはこういうことなのか、自分らが裏方を経験してみるなど。演者とはこんなものだというのを実質数週間だけ体験して、リアルに感じてもらうというのもありではないか。</li> <li>・ いよいよ重要なところへ来たと感じる。いままで関わっていなかった人たちにもたくさん来ていただいて、新しい意見や、思いもつかないようなことが出てきたら楽しくなるかなと思っている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新宮市出身の活動している人たちは WS に来ているのか。仕事で忙しいのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 忙しくて参加できていない。</li> <li>・ 有名な活躍している人でたまたまその日がだめで、意識としては参加したいと思っている方もいる。関わりたいと思っている。</li> </ul>
委員	<p><b>【市民参加についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来られるメンバーによる。今活発な団体はたくさんいるので。その人たちをどう引き込むかで今後が変わってくる。</li> <li>・ 隠れているのがカラオケ同好会。すごい人数がいる。ダンスも多い。</li> <li>・ 誰かがどこかで1つは団体に入っている。</li> <li>・ 何かしたいという気持ちで企画まではいくが、皆さん仕事をしながら趣味を持っている。時間を合わせて、こちらを中心にするのが難しい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体の人が多いといっても、もちろん高校生は参加してくれているが、地域の人や高校生からお年寄りまで異世代の人たちも同時に、新宮でたくさん文化活動をやっているような人がたくさん参加できるようにしたいが、どうして WS に参加しないのだろうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体の人は、たまたまその日にイベントが重なったら WS に参加できない。同じ日に重なったら優先するのはそちらになる。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今、新宮地域周辺で文化活動をしている人からもっと意見・知恵を引き込む余地が WS で残っている。最初 100 人ワークショップにしたらどうかと言った。途中から入りにくい人もいるし、意思をはっきり持っているからきついことを言われるかもしれないが、そういう意見も是非聞いておくべきである。検討委員でも WS の周知宣伝をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外から見ていると、新宮市の人たちには新宮のことだけを考えていな</li> </ul>

	<p>い。串本から尾鷲まで含めた圏域の意識がある。昔は住民ではないから他所の人は図書館を利用してはいけないという決まりがあった。新宮の人はそういうことをまったく思っていない。むしろおいでよという意識が出ている。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今市外から WS に来ている人は少ない。施設が出来上がればこの地域の文化の大拠点になる。そのときに、圏域で精力的に活動している人に来てもらってもいい。</li> <li>・ 次回の WS は、市民参加や組織や運営論に入っていく大事な時期なので、検討委員ももっと専門性や力をもっている人にできる限りで良いので参加の声かけをして欲しい。幅広い意見を戦わせるようにしたい。</li> <li>・ 検討委員で現地を見学することは大切だと思う。出来るだけたくさんの委員が先進地を見られるように研修・視察を企画してほしい。委員も勉強する責任がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程調整、場所など TWS とも相談して計画する。</li> </ul>

以上